

那覇市民体育館を会場に5月30日(土)、「なは☆こどもみらいフェスタ」が開催されました。

会場には、親子連れなど約1,600人が来場。手作りの巨大迷路やミニホッケー、遊びのコーナーなどで、子どもたちがとびつきの笑顔を見せながら、のびのびと遊ぶ姿が見られました。

また、子どもたちによるダンスや和太鼓などの舞台発表も行われ、この日は笑顔と歓声に包まれた1日となりました。



子どもたちの健やかな成長を願い ～なは☆こどもみらいフェスタ～



首里金城町自治会が見事受賞! ～国土交通大臣賞(まちづくり功労者)受賞報告～

首里金城町自治会が6月3日(水)、国土交通大臣賞(まちづくり功労者)受賞報告のため市役所本庁舎へ訪れ、仲村副市長に受賞の喜びを伝えました。

この賞は、魅力あるまちづくりの推進に努め、著しい功績のあった個人や団体を表彰するもので、首里金城町自治会は、都市景観形成地域の指定などに地域住民と事業者との意見調整の窓口役としての役割を果たし、首里金城町の景観形成・まちづくりに大きく貢献したことが評価されました。



ごみ減量にご協力を! ～「ごみ減量呼びかけ作戦」出発式～

5月30日の「ごみゼロの日」の前日にあたる5月29日(金)、県民広場で「ごみ減量呼びかけ作戦」出発式が行われ、県民副市長が「ごみゼロの日宣言」を行い、市民や事業者にごみ減量の実践を呼びかけました。

式には、多くの事業者や市職員、FC琉球の選手が参加し、式終了後には参加者全員で国際通りをメインにクリーンアップ作戦(清掃活動)や、ごみ減量を呼びかけるチラシの配布が行われました。



声援を受け、一球入魂 ～平成21年度那覇市少年少女ドッジボール大会～

スポーツを通して、子どもたちの健やかな成長と学校間の交流、明るく豊かな地域づくりを目的に6月6日(土)、市内の4年生から6年生までの男女合わせて92チーム、約1,400人が参加して少年少女ドッジボール大会が行われました。

生徒たちは、家族や友人の熱い声援を一身に受けながら、互いに元気良く声を掛け合い、息の合ったフォーメーションで、一球一球力のこもったボールを投げ合い、好ゲームを展開し、会場を大いに沸かせました。

沖縄初の外交官 田場盛義の生涯

～これから沖縄と東アジアを生きる～

哀愁の聖歌場に漲り 市葬盛儀を極む 会衆一千各地から弔電

「琉球国」「歴代王家の出であった尚昌侯爵(前列左から2人目)を、1923年漢口日本総領事館に迎えた田場(後列左から1人目)

沖縄初の外交官であった田場盛義(1894～1937年)が、1937年7月7日の日中の本格的な戦争へと展開する盧溝橋事件後に、北京郊外で勃発した同年29日の通州事件で、命を落としてから72年になる。

田場は、現在の浦添市に生まれ、恩納村を本籍地に那覇市を母堂(母)カメが住所にしていた。終生沖縄を愛し、自らの学識と外交官体験を沖縄のために役立てたいと念じ、雅号も「耕南」(南を耕す)と称したのはそのためである。

田場は、抜群の語学力と交渉力が認められ、上海では松岡洋右(後の外務大臣)の秘書役も務めた。その外交官生活の大半は、中国大陸を舞台にしたが、それはまた日本の中国侵略と植民地支配の国策の中で、田場の豊かな才能も「不幸な時代」の中に沈められたのである。亡骸は、満州国葬の後に那覇市に移されて、盛大な市葬が開催され天久の墓所で永い眠りについたのである。

展示は、任地の各領事館、上海商務官事務所、満州国外交部の関係資料や田場の著作、手記をはじめ、通州事件で死去した時の新聞報道、写真などで構成し、沖縄を背負い中国を生きた田場の生涯を知り、これからの沖縄の在り方、東アジアの平和と友好親善、共生、協働を考えるものである。なお本展は、沖縄大学又吉学級(代表又吉盛清教授)との共同企画展として開催される。

この機会にぜひご覧ください。

■開催期間…
7月3日～8月4日
お問い合わせ
那覇市歴史博物館
☎869-5266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

8万人以上の方が選んだ理由

放送大学で学ぶ学生は世代や性別を超えて毎年8万人以上。目的の達成を目指す多彩なコースを用意しています。

平成21年度

10月入学でも学士取得ができます。

10月入学生募集中!

出願期間:平成21年6月15日(月)～平成21年8月31日(月)



放送大学

沖縄学習センター
TEL.098-895-5952

資料請求や出願は、インターネットでもできます!

放送大学 検索 www.u-air.ac.jp



西原町字千原1番地(琉球大学内)
〒903-0129
見学受付:10:00～17:00
(月曜・祝日休館)